

## ◆ レストランクルーズ船 ルミナス神戸2が運航再開

ルミナス神戸2とコンチェルトの2隻が、エレガントな神戸の海を演出

日本全国で緊急事態宣言が解除されたこととコロナ禍収束の兆しを受け、みなと神戸の象徴復活を目標に、昨年運航休止から約1年8カ月ぶりとなる11月3日、神戸港を周遊するレストランクルーズ船「ルミナス神戸2」が運航を再開した。出港前には記念セレモニーが開かれ、関係者が復活を祝った

「ルミナス神戸2」は初代を引き継ぎ1994年に就航。全長106メートル、総トン数4778トン、定員1千人の国内最大級のレストランクルーズ船として、神戸港や周辺の遊覧などで人気を集めている。昨年、株式会社神戸クルーザーが事業を引き継ぎ、同じ神戸港で人気の高い「コンチェルト」と共に「THE KOBE CRUISE (ザ・コウベ・クルーズ)」という新ブランドを掲げ、神戸の象徴として新たな船出を飾った。

復活を記念し、3日の11時から、旅客ターミナルで記念式典や、神戸港を周遊する船上記念パーティーが行われ、また、乗客60人を無料招待し、神戸港を周遊するディナークルージングも開催された。

乗客たちは神戸の美しい街並みや夜景を海上から眺めながら、豪華な食事を楽しめるクルージングを堪能したほか、若い世代や日本全国の人々に、神戸の魅力を知らせてもらうため、インスタグラマー100人も招待し、神戸の魅力を発信した。

「ルミナス神戸2」のコンセプトはカジュアルな客船。神戸のグルメを詰め合わせたバイキング料理と、海から見える神戸の景色・夜景を気軽に楽しめるというイメージで、「神戸港と料理」を全国に発信している。運航休止の間を利用して、誰でも楽しめるパーティールームを増設し、神戸のルミナリエを彷彿させる電飾を設備するなど、これまでのクルージングの楽しみ方を残しつつ、新たに若い世代を対象とする改装を行うことで、全世代のお客様がクルージングを楽しめる仕様となった。(ルミナリエ＝イタリア語で、電飾の意味)

もう一方のレストランクルーズ船「コンチェルト」は「ルミナス神戸2」とは対照的に、フォーマルをコンセプトとし、ピアノやバイオリンなどの生演奏を聴きながらコース料理を堪能でき、大人の上品な船旅を楽しめる。

「ルミナス神戸2」と「コンチェルト」はそれぞれ異なるコンセプトだが、その時々のお客様のニーズに合わせて、カジュアルやフォーマルの雰囲気に応じたクルージングを演出する。

神戸に愛された「ルミナス神戸2」の長期間にわたる運航休止は衝撃的な出来事だったが、復活を待ち望んでいたファンの期待に応えての、今後の活躍が期待されている。